

# 地域戦略(案)に関連した主な取組

中部地方整備局

<b>【目次】</b>	<b>地域戦略(1)フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーション環境の構築 ～圏域内の移動環境の円滑化～</b>	
	中部圏の高速交通ネットワーク	・・・1P
	中部地方整備局管内の主な道路事業	・・・2P
	中部地方整備局管内の主な港湾・港湾海岸事業	・・・3P
	<b>地域戦略(2)社会実装を高速で実現させる地域づくり</b>	
	スマートシティプロジェクトの推進	・・・4P
	スマートシティプロジェクト箇所図	・・・5P
	中山間地域における道の駅等を拠点とした 自動運転サービス 実証実験箇所	・・・6P
	<b>地域戦略(3)産学官民の有機的な連携による防災・減災対策</b>	
	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(概要)	・・・7P
	総合啓開 応急対応オペレーションの検討	・・・8P



# 地域戦略(1)フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーション環境の構築～圏域内の移動環境の円滑化～

## ○中部圏の高速交通ネットワーク



スーパー・メガリージョン

**中部圏**

出展：新たな中部圏広域地方計画(概要版)より作成

□：中部の地域づくり委員会の意見を表示したのもの

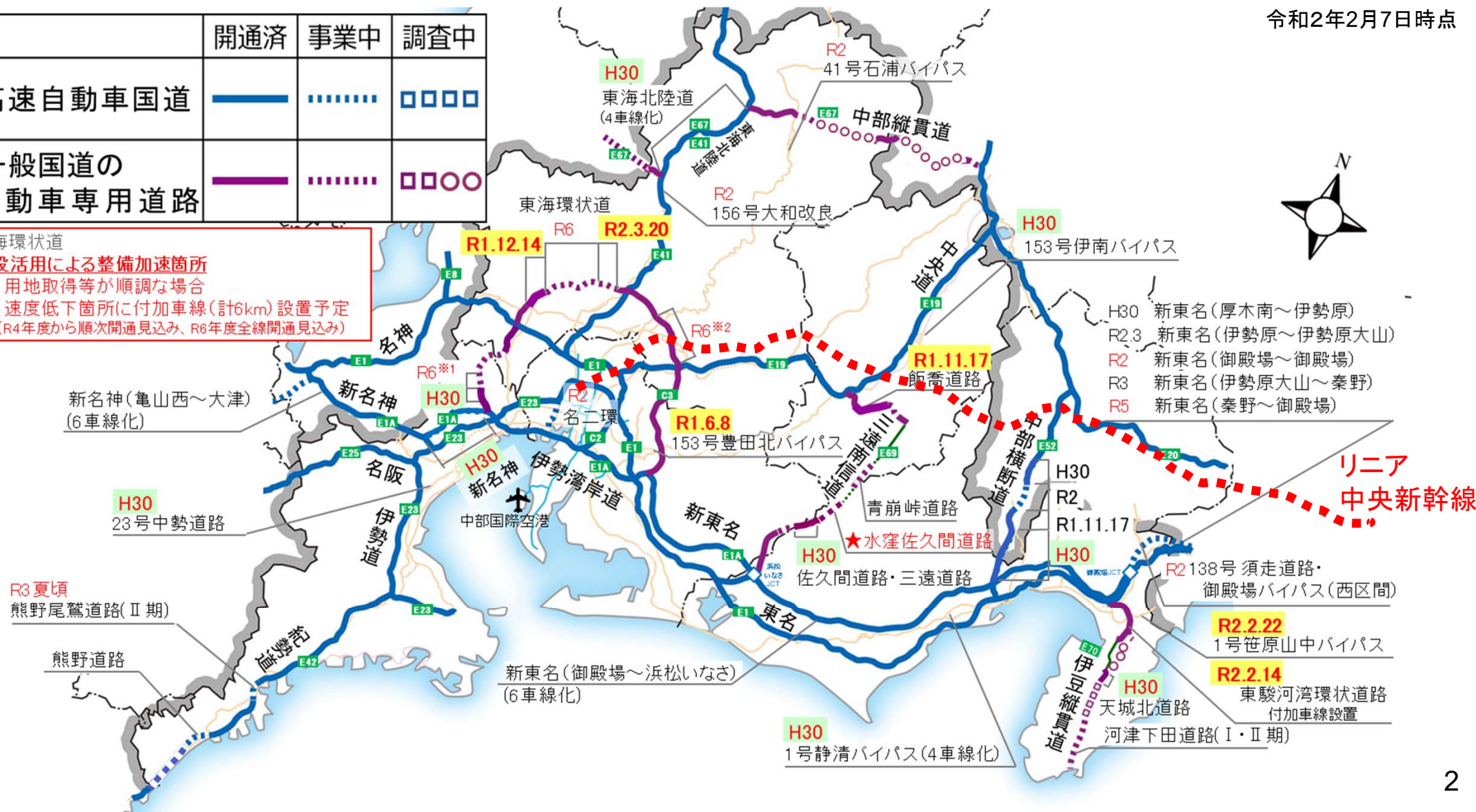
# 中部地方整備局管内の主な道路事業

- ・中部地整管内の高規格幹線道路の延長は約1,700km〔約1,400kmが開通済(約80%)〕
- ・H30年度は9箇所が開通、令和元年度は6箇所の開通を予定(中部地整管内:赤文字)

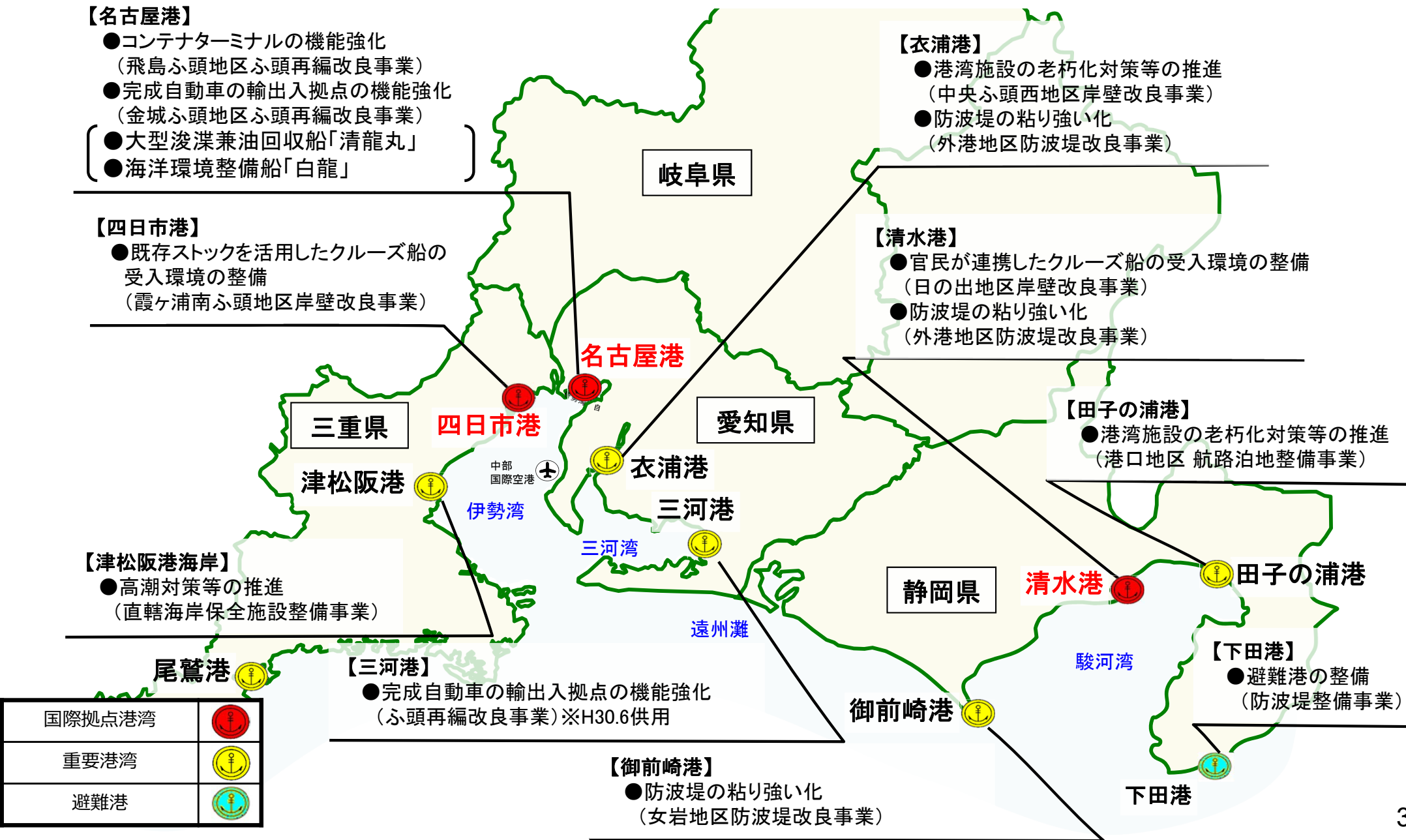
令和2年2月7日時点

	開通済	事業中	調査中
高速自動車国道	——	.....	□□□□
一般国道の自動車専用道路	——	.....	□□□□

東海環状道  
財投活用による整備加速箇所  
※1 用地取得等が順調な場合  
※2 速度低下箇所に付加車線(計6km)設置予定  
(R4年度から順次開通見込み、R8年度全線開通見込み)



## ○中部地方整備局管内の主な港湾・港湾海岸事業



# 地域戦略(2)社会実装を高速で実現させる地域づくり

## ○スマートシティプロジェクトの推進

・先進的技術をまちづくりに活かし、市民生活・都市活動や都市インフラの管理を飛躍的に高度化・効率化することで都市が抱える課題解決につなげる「スマートシティ」を推進するため、モデル地区を定め、先進的技術をまちづくりに活用した先導的な取組を支援する。

### スマートシティとは

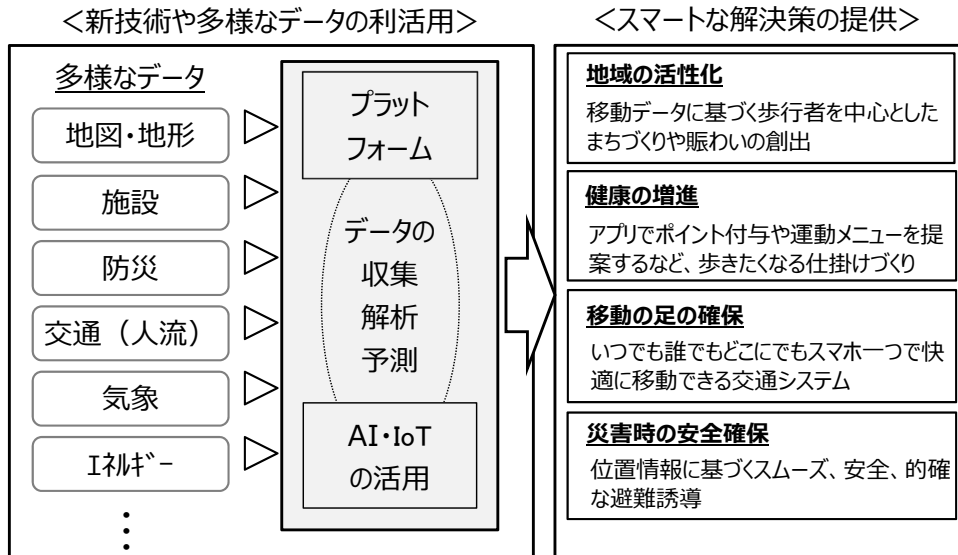
都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区

<p><b>Mobility 交通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を中心に、あらゆる市民が快適に移動可能な街</li> </ul> 	<p><b>Nature 自然との共生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水や緑と調和した都市空間</li> </ul> 	<p><b>Energy 省エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パッシブ・アクティブ両面から建物・街区レベルにおける省エネを実現</li> <li>太陽光、風力など再生可能エネルギーの活用</li> </ul> 	<p><b>Safety &amp; Security 安全安心</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害に強い街づくり・地域コミュニティの育成</li> <li>都市開発において、非常用発電機、備蓄倉庫、避難場所等を確保</li> </ul> 	<p><b>Recycle 資源循環</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水等の貯留・活用</li> <li>排水処理による中水を植栽散水等に利用</li> </ul> 
---	--	--	---	--

### スマートシティ実証調査

#### 【モデルプロジェクト概要】

民間企業、地方公共団体等が持続可能で分野横断的な取組を目指し、都市・地域問題に係るソリューションシステムを実装する実証調査を行うモデル事業に対して支援を実施。



### センシング型スマートシティの実装支援

都市インフラ関係の主要事業において、データの公共的利活用を前提に、公共施設等と情報化基盤施設(※センサー、ビーコン、画像解析カメラその他先端的な技術を活用した施設等)の一体整備等に対する支援を実施します。

(例)センサー、画像解析カメラによる駐車場管理により、満空情報を提供し円滑な誘導を実施することで稼働率を向上

(例)屋内測位環境の整備(センサー、ビーコン設置)によりリアルタイムのイベント情報や商品情報を提供することで回遊性を向上

※情報化基盤施設を通じ取得される情報を、公共の取組等の利用に供することが要件

# 地域戦略(2)社会実装を高速で実現させる地域づくり

## ○スマートシティプロジェクト箇所図(令和元年5月選定)

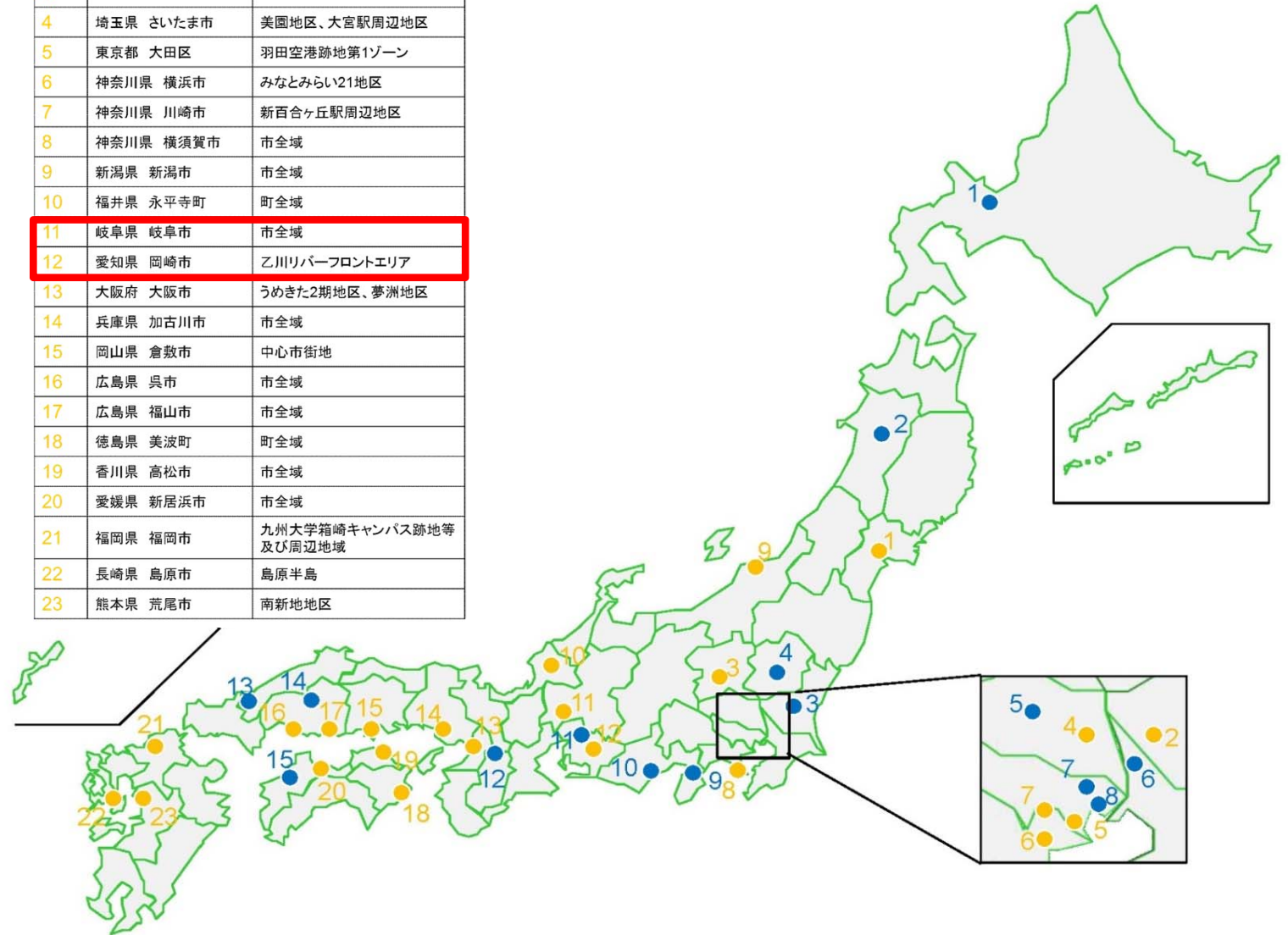
### ◆先行モデルプロジェクト

番号	プロジェクト実施地区	対象区域
1	北海道 札幌市	市の中心部および郊外
2	秋田県 仙北市	市全域
3	茨城県 つくば市	市全域
4	栃木県 宇都宮市	市全域
5	埼玉県 毛呂山町	町全域
6	千葉県 柏市	柏の葉キャンパス駅周辺
7	東京都 千代田区	大手町・丸の内・有楽町エリア
8	東京都 江東区	豊洲エリア
9	静岡県 熱海市 下田市	熱海市市街地 下田市市街地
10	静岡県 藤枝市	市全域
11	愛知県 春日井市	高蔵寺ニュータウン
12	京都府 精華町 木津川市	けいはんな学研都市 (精華・西木津地区)
13	島根県 益田市	市全域
14	広島県 三次市	川西地区
15	愛媛県 松山市	中心市街地西部

※赤枠 中部地方整備局管内

### ◆重点事業化促進プロジェクト

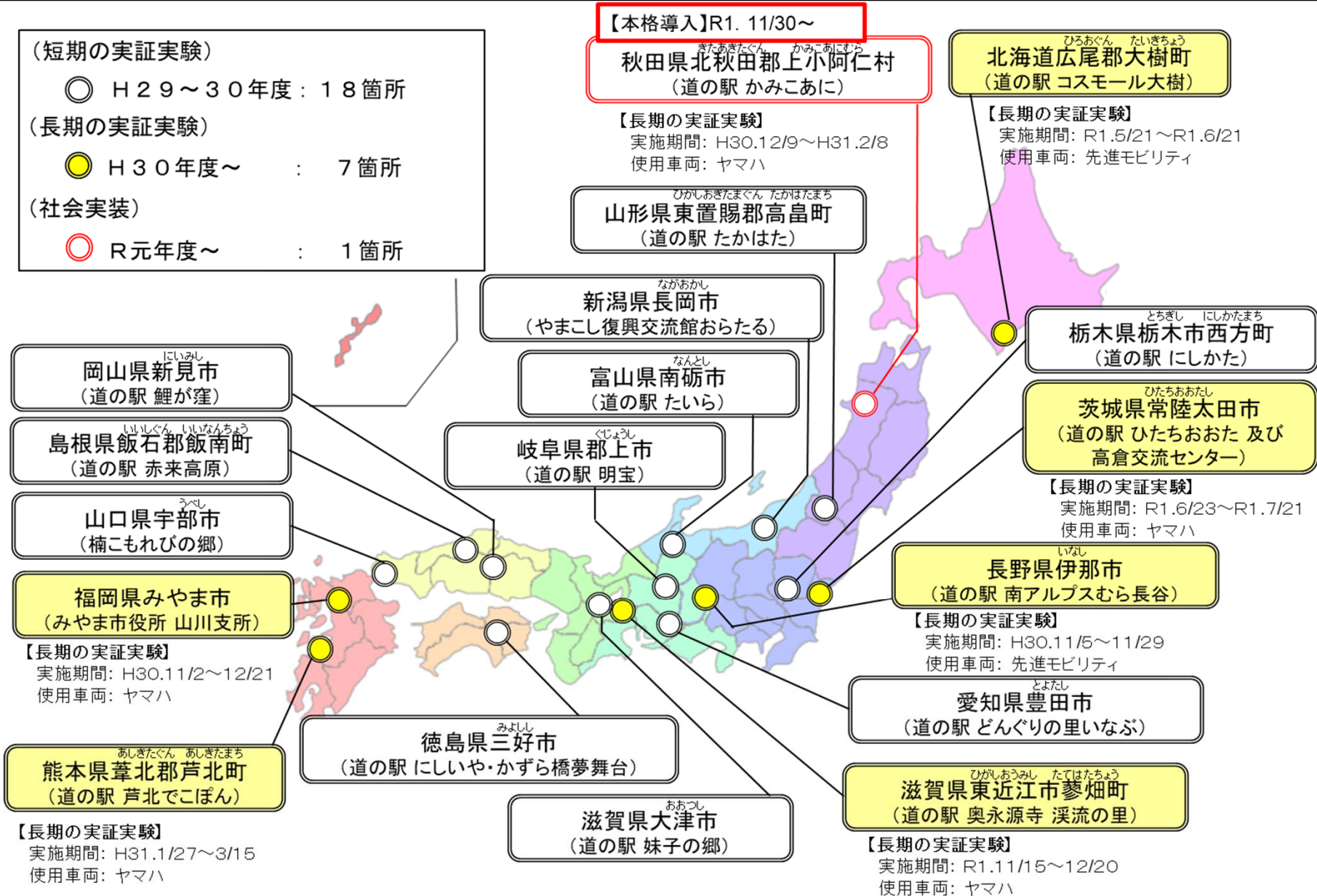
番号	プロジェクト実施地区	対象区域
1	宮城県 仙台市	泉パークタウン
2	茨城県 守谷市	市全域
3	群馬県 前橋市	市全域
4	埼玉県 さいたま市	美園地区、大宮駅周辺地区
5	東京都 大田区	羽田空港跡地第1ゾーン
6	神奈川県 横浜市	みなとみらい21地区
7	神奈川県 川崎市	新百合ヶ丘駅周辺地区
8	神奈川県 横須賀市	市全域
9	新潟県 新潟市	市全域
10	福井県 永平寺町	町全域
11	岐阜県 岐阜市	市全域
12	愛知県 岡崎市	乙川リバーフロントエリア
13	大阪府 大阪市	うめきた2期地区、夢洲地区
14	兵庫県 加古川市	市全域
15	岡山県 倉敷市	中心市街地
16	広島県 呉市	市全域
17	広島県 福山市	市全域
18	徳島県 美波町	町全域
19	香川県 高松市	市全域
20	愛媛県 新居浜市	市全域
21	福岡県 福岡市	九州大学箱崎キャンパス跡地等 及び周辺地域
22	長崎県 島原市	島原半島
23	熊本県 荒尾市	南新地区



# 地域戦略(2)社会実装を高速で実現させる地域づくり

## ○中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス 実証実験箇所

- ・道の駅等を拠点とした自動運転サービスの実証実験について、準備の整った箇所から順次、社会実装を実現
- ・中部地方整備局管内では、3箇所を実証実験を実施





# 地域戦略(3)産学官民の有機的な連携による防災・減災対策

## ○南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(概要)

東日本大震災を踏まえ、運命を共にする中部圏の国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界等が幅広く連携し、南海トラフ地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から一体となって重点的・戦略的に取り組むべき事項を「中部圏地震防災基本戦略」として協働で策定しフォローアップ

### 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

第1回 2011年10月4日(設立)

事務局:中部地方整備局



- 座長(奥野信宏 名古屋都市センター長)
  - ◆ 学識経験者(13名) ※座長含む
  - 国の地方支分部局(36機関)
  - 地方公共団体(13機関)
  - 経済団体(4機関)
  - ライフライン関係団体等(59機関)
  - 報道関係機関(10機関)
- 合計135構成員(2019年5月30日現在)

第3回 2012年11月5日

中部圏地震防災基本戦略【最終とりまとめ】

第5回 2014年5月22日

中部圏地震防災基本戦略【第一次改訂】

第8回 2017年5月18日

中部圏地震防災基本戦略【第二次改訂】

第9回 2018年5月17日

南海トラフ地震を想定したタイムライン作成

第10回 2019年5月30日

- ・タイムラインに基づく「救出救助・総合啓開分科会」を開始
- ・南海トラフ地震対策中部圏戦略会議「活動計画検討会」を開始

### 2019年度の進捗状況

#### ■ 救出救助・総合啓開分科会の開催

- ・2019.7.30 第3回救出救助・総合啓開分科会
- ・2020.2.17 第4回救出救助・総合啓開分科会(演習)【予定】

#### ■ 災害時燃料供給WGの開催

- <愛知県>
- ・2019.5.15 第4回災害時燃料供給WG
- ・2019.11.27 第5回災害時燃料供給WG
- <三重県>
- ・2019.9.26 第1回災害時燃料供給WG

#### ■ 南海トラフ地震臨時情報への対応

- ・2019.7.24 第1回南海トラフ地震臨時情報に伴う防災対応連絡会
- ・2019.9.13 第2回南海トラフ地震臨時情報に伴う防災対応連絡会
- ・2019.10.25 第3回南海トラフ地震臨時情報に伴う防災対応連絡会
- ・2019.12.20 第4回南海トラフ地震臨時情報に伴う防災対応連絡会

#### ■ 活動計画検討会の開催

- ・2019.7.30 第3回活動計画検討会
- ・2020.1.20 第4回活動計画検討会

#### ■ 「防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)2019」への参加

- ・2019.10.20 ハイレベルセッション  
「南海トラフ地震へのソナエ」を開催

# 地域戦略(3)産学官民の有機的な連携による防災・減災対策

## ○総合啓開 応急対応オペレーションの検討

- ・大規模災害発生時(発災直後の初動)において、資源(人材、資材、機材)の不足が懸念される
- ・応急対応(緊急復旧、道路啓開等)を迅速かつ効果的に行うためには、最も効果があがる箇所からの実施することが重要
- ・このため、事前に災害パターンに応じた対応の考え方や、実施手法(資源配分や指揮命令系統等)を検討し、関係機関との合意を進める

### 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

#### ■7つの優先的に取り組む連携課題

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 災害に強いものづくり中部の構築       | (中部経済産業局)            |
| 2. 災害に強い物流システムの構築        | (中部運輸局)              |
| 3. 災害に強い地域づくり            | (中部地方整備局)            |
| 4. 情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化   | (東海総合通信局・国土地理院地方測量部) |
| 5. 防災意識改革と防災教育及び人材育成の推進  | (三重県)                |
| 6. 確実な避難を達成するための各種施策の推進  | (静岡県)                |
| 7. 災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備 | (中部地方環境事務所)          |

#### ■2つの継続的に取り組む連携課題

- |                                      |           |
|--------------------------------------|-----------|
| 8. 防災拠点を結ぶネットワーク形成と総合啓開のオペレーション計画の策定 | (中部地方整備局) |
|--------------------------------------|-----------|

#### ●今回の応急対策オペレーション検討

##### 総合啓開

くしの歯作戦(中部地方幹線道路協議会)

##### 排水計画

伊勢湾BCP(伊勢湾BCP協議会)

+

各施設の  
復旧

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 9. 関係機関相互の防災訓練の実施 | (中部管区警察局) |
|-------------------|-----------|

### 対象作業

- ・道路啓開、航路啓開
- ・排水作業(堤防締切を含む)
- ・道路、河川等の所管施設 等の  
の応急復旧

### 検討内容

- ①大規模災害発生時の応急対応(緊急復旧、道路啓開等)の優先順位等の考え方
- ②応急対応を実施する上での最適な資源配分(施工業者、資機材)
- ③災害発生時の関係機関の調整手続き、実施業者等への指揮命令系統

⇒ 愛知県の尾張地区(濃尾平野)をモデル地区として設定し検討を進める